

東西宗教交流学会について

八 木 誠 一

以下に記されている講演と討論は「東西宗教交流学会」第一回学術大会の記録である。まずこの学会について若干の説明をしておきたい。一九八〇年六月一日より二七日まで、ハワイ大学において、同大学の主催により、「East-West Religions in Encounter」という国際学会が開催された。

これは仏教とキリスト教の比較、交流、対話を中心とした会合で、北米、日本、東南アジア、オーストラリア、スリランカ、ヨーロッパ等から約八十名の研究者、宗教者が集まり、合計百近い講演、シンポジウム、ワークショップ、研究発表があり、盛会であった。その後、定期的に学会を開催する方針が定まり、恒常的組織として East-West Religions Project を設定し、事務所をハワイ大学に置き、三年に一回会合を開催することになった。

さて日本でも、このような学会の有意義性が痛感されていたので、右に述べたハワイ大学での会合に出席した者が中心

となり、日本に East-West Religions Project

の支部会を設定する話が進み、一九八二年二月二七日(土)、京都のNCC宗教研究所において発起人会が開かれ、支部会設立と第一回学術大会の開催について打ち合わせが行われた。出席者は以下の八名であった(ABC順)。モリス・オーガスチン、坂東性純、ヤン・ヴァン・ブラーフト、土居真俊、藤吉慈海、本多正昭、石田慶和、西村恵信、八木誠一。ついで同年三月一日付で「東西宗教交流学会日本部会発会趣意書」が、右の準備会で推薦された約三〇名の会員予定者に送付され、二四名の入会承諾を得た。第一回学術大会については、右記発起人の間で、我が国での仏教とキリスト教の対話の成果を確認することから始めることについて合意がなされ、滝沢克己氏を講演者として招いて、同氏の単独講演と講演に関する討議を内容とすることが決められた。

一九八二年七月二六日より二八日まで、京都の関西セミナ

ーハウスにおいて、東西宗文化交流学会第一回の会員総会及び学術大会が開催された。七月二六日の会員総会において、八木が作製した原案に基づいて学会規約が承認され、本会の名称も東西宗文化交流学会と確定された。また、本会が East-West Religions Project の日本支部会 (Japan Chapter) であること、本会の会員は East-West Religions Project の会員として登録されることも承認され、規約に明記された。ついで規約により、以下のように会長および幹事が選出された。会長、土居真俊。幹事、ヤン・ブラーフト、本多正昭、八木誠一(以上キリスト側)、石田慶和、坂東性純(以上仏教側)。

第一回学術大会は七月二七日、二八日両日にわたって行われた。二七日に滝沢克己による二回の講演と、それを受けての討論が行なわれ、二八日に同氏による第三回の講演と、それについての討論の会が持たれた。その後、第一回の大会の総括と反省、将来への展望につき、意見の交換がなされた。総会及び学術大会は原則として年一回、京都で開催される方針が立てられた。

第一回学術大会の内容は、これを要約して印刷の上会員に配布すること、英文の報告を作製してハワイ大学の学会事務局に送ることが総括の折に定められ、その作製は八木誠一に委託された。八木は三回の講演と教時間に及ぶ討論をテープから起こした約四百枚の生原稿を百二十枚に要約した。印刷

して公けにする必要上、八木の責任において文体を整えたところもある。内容上重要ではあるが、直接滝沢講演の趣旨とは関係の薄い発言(たとえばM・オーガストンの発言)、また内容上滝沢講演に關してはいるが聞き取れなかったもの(たとえば武藤一雄の発言)は採録できなかった。したがって以下の記録の文責は八木にある。記録の原稿は滝沢克己には送付して眼を通していただいたが、発言者各氏にはそれをしていないので記録された発言内容につき異議のある方は是非申し出ていただきたいと思います。ただ、発言者各氏に手を加えていたのでは全体のまとめが技術的に困難となる事情は了承していただきたいと思います。

本会合の出席者は左記の通りである。なお、滝沢克己氏と八木洋一氏は、本人の希望により、本会合において入会を認められた。またこの記録ははじめタイプ印刷にする予定であったが、秋月竜珉会員の申し出により、同氏が主幹である『大乘禅』誌の特集号を本記録発表にあててよいとのことであったので、役員会で検討したのち、感謝を以て秋月氏の好意を受けることになった。以上が本記録が『大乘禅』誌に掲載されることとなった経過である。

第一回 東西宗 教者氏 流席名	学流氏名
(1)	滝沢克己
(2)	モリス・ オーガスティン
(3)	坂東性純
(4)	リノ・ ベリーニ
(5)	土居真俊
(6)	藤吉慈海
(7)	本多正昭
(8)	石田慶和
(9)	武藤一雄
(10)	西村恵信
(11)	小野寺功
(12)	武田竜精
(13)	ノット・ R. テレ
(14)	八木誠一
(15)	八木洋一
(16)	浅井永 (オブザーバー)
(17)	Sybilie Fritsch- Oppeman (オブザーバー)